

第3回銚子市行財政改革審議会 会議録

日 時：平成25年11月6日（水）午前10時～午後0時30分

場 所：全員協議会室

出席者：委 員 伊永委員、加瀬委員、西田委員、吉田委員

オブザーバー 構想日本：伊藤総括ディレクター

銚子市 越川市長 宮澤財政課長 長谷川課長補佐 道下主査

事務局 渡辺行政改革推進監 鴨作室長補佐 古澤主査 小保方主査

傍聴者 市議会議員8名、市民3名 ほか報道各社

欠席者：委 員 土居委員

1 開会

伊永会長（議長） 第3回銚子市行財政改革審議会を開催いたします。

（傍聴者に対する注意事項説明）

2 議事

伊永会長 それでは、議題に入ります前に、1つ連絡事項がございます。

本日、土居委員は所用のため欠席されておりますので、ご了解をお願いします。皆様にご報告申し上げます。

伊永会長 本日の議題についてご説明する前に、お手元の資料で前回のもものと重複しているものもございますが、資料の確認を事務局からお願いします。

事務局 （事務局から本日の資料の説明）

伊永会長 お手元の資料、前回と重複しておりますが、財政状況分析については、さらに深く議論したいと思ひまして、今回も資料を添付しております。我々委員は前回の資料も全て持っておりますが、今日初めてご参加の方もおられると思ひます。お手元の資料については以上でございます。

それでは、本日の1つ目の議題ですが、前回から引き続きとなります「銚子市の財政状況分析と行財政改革について」ということで、最初に事務局から資料の説明をお願いします。前回と重複する部分も、もう1回説

明していただいて、行政改革大綱に基づくこれまでの取組みについて説明を進めていただくようお願いします。

事務局 (議題(1)について事務局説明)

伊永会長 長時間の説明ありがとうございました。

約1時間の説明となりましたが、今日は、若干、会議が延びてもよろしいですかね。

大変丁寧に説明していただいて、こういう機会はまたとないというぐらいの機会でしたので、丁寧な説明をお願いしました。ありがとうございました。

行政改革大綱に基づく取組みについても簡単にご説明いただく予定ではありますが、とりあえずこの財政状況分析の資料についてご質問ありましたらお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

加瀬副会長 最終的に、この表の中では平成23年度の実質収支が494,615千円となっていますが、24年度が2億2,000万円に下がっている、これが今回の問題の中で議論しなければならない、ここが赤字になってしまうが故にどうするかということを議論するというところでよろしいですね。赤字というのはそういうことですよ。

事務局 そういうことになろうかと思います。

加瀬副会長 全体的な中で、今、銚子の財政状況は基本的に悪い方向に行っているというふうに理解してよろしいですか。

23年度より24年度の方が、本来、歳出すべきものも抑えながら対応してきたけれど、実は、非常に厳しい状況であるという認識ということよろしいですね。

事務局 実質単年度収支が悪化しておりますので、そういう考えでよろしいかと思えます。

加瀬副会長 本来、歳出の中で、もう少し手当てをしなければならないものが、事実

上、資金難、財政難の中で手当てができていないという状況があるということも含めておいていいですか。

覚悟しておかなければならない削減の問題もあるのですが、トータル的に見ると、そういう状況であるということによろしいですか。

事務局 よろしいかと思います。

伊永会長 時間も押しておりますので、行政改革大綱に基づく取り組みも相当数ありますので、要領よく説明していただいでよろしいですか。

行政改革推進監 (別紙資料に基づき説明)

伊永会長 ありがとうございます。
それでは、この行政改革大綱のところで何かご質問ありますか。

構想日本 伊藤氏 先程の、財政状況のご説明と合わせてになるのですが、二点だけ確認させてください。
財政力指数の全国平均はいくつとおっしゃいましたでしょうか。

事務局 0.51です。

構想日本 伊藤氏 もう一点。銚子高校の支出が9億5,000万円あるうちの交付税措置はいくらぐらいと見ているのでしょうか。

財政課長 高等学校の交付税措置については、ほぼ掛かった経費の相当額はすべて交付税で措置されるというふうを考えております。というのは、従来、授業料、現在は国からの交付金に代わっておりますけれども、その特定財源を差し引いた一般財源相当分については、すべて普通交付税で補てんされているというふうを考えております。ただし、銚子高校は、何年か前に新しく建て替えたばかりで、それに対する借金の返済とPFIに関する割賦負担金までは全額交付税で補てんされている訳ではないです。

構想日本 伊藤氏 ありがとうございます。何を聞いたかったかといいますと、まず最初

に、こういうふうに6市を横に並べて決算資料を出されるケースというのは非常に珍しくて、私もいろいろな会議に参加しているのですが、このように比較をされるのは非常に重要ですし、なかなかないことですので、これは大きいと思います。

決算資料の中で、銚子市の財政力指数が0.57で全国平均より上だということだったかと思うのですが、やはり0.57というのはかなり低い方です。全国平均というのは、例えば、北海道の4千人ぐらいの村とかも含めての平均になりますし、この関東圏、首都圏の中で0.57という状況は、ある意味では危機意識を持たなければ駄目だということは、全体の中の共通認識として持った方がいいのかなというふうに感じました。

行政改革推進室長からの行革の話も含めて、銚子市の場合、自由に裁量的に使える経費というのは、かなり切り込んできておられて、ある意味では、今その状況の中で、支出がまだ高くなっている状況というのは、いくつかに絞り込まれている状況だと思うのです。そういった中で、高校もそうですし、病院もそうですし、現業も持っている人件費を含めて、こういったところに絞り込まれるのだと思うのですが、ただ、これは1つの判断として、だからといってこの3つを必ず切れればよいということではなくて、その部分を活かすためには、逆に言うと、投資的経費をもう少し削らなければ、経営という意味では収支のバランスが成り立たないということは、この後何かをするという意味でも全体的に考えていく必要があるのかなというふうに感じました。

伊永会長

ありがとうございました。

加瀬副会長

もう一点よろしいですか。

先程のご説明の財政状況の都市別概況のところ、最下段の都市別地方債現在高等の中に、公営企業等に対する繰出金等がありますね。この中に、銚子市の病院事業会計のところ、15億1,021万1,000円と入っているのですが、これは、従前、病院があった時に、今まであったものに対する補てんの分と、それから、今、進行しているものに対する補てんの分と、2つあるかというふうに思います。なおかつ、これに対して交付税措置がなされているかどうか、これについて聞きたいと思います。

財政課長 23年度の決算ですと、病院に対する交付税措置は、約1億5,300万円ですね。病院は前年度末の病床数で算定されますので、23年度は1億5,300万円程度しか交付税措置はありませんでした。

旧病院に係る経費がこの中には当然含まれておりまして、水道事業への返済金が、23年度の決算ですと5,000万円、企業債の繰出しが約2億7,000万円ほど含まれておりました。その他に、休止したときの退職金の負担金の分が約1億8,800万円、それから、企業債の利払いの部分が、水道の長期返還金の利息と合わせまして、約1,400万円程度含まれております。それ以外については、新しい病院の収支不足の分と医師招へいの分です。

加瀬副会長 ありがとうございます。暗算でいくと、約5億円ぐらいが旧病院に対する分と理解してよろしいですか。

財政課長 はい。

加瀬副会長 退職金に伴う債務とのお話がありましたけど、その残高というのはどこに載っておりますか。

財政課長 毎年定額で1億8,815万3,000円ずつ、平成28年度まで県の総合事務組合へ支払うことが決まっております。それが旧病院の分です。

加瀬副会長 この数値はどこかに計上されているのですか。
先程の将来負担比率の中に計上されていると考えてよろしいですか。

財政課長 毎年、その分については病院への繰出金の中に上乗せされる分ですけれども、将来負担比率の中に算入される数値ではないです。

加瀬副会長 ということは入っていないということによろしいですね。

財政課長 はい。

伊永会長 第1回目の時に、病院事業について多少の説明をいただいたのですが、いずれ、この病院は、この会議で一日掛けて取り上げるべき事業だと思っ

ております。何度も申し上げますが、千葉科学大学と銚子市立病院は、それぞれ一度、その事業だけの結末をどこかで取り上げなければならないという認識でおりますので、いつやるかは事務当局と工程表を見ながら決めていきたいと思っております。

それでは、第1番目の議題で1時間半近く経ってしまいましたけど、議論はこの程度にさせていただきまして、時間が今日は少し延びて申し訳ないのですが、この後も似たような議論が出てまいりますので、全体的にこれはここで置いておいて、次の議題を進めたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

(意見なし)

伊永会長

それでは、2番目の議題に移りたいと思います。

平成25年度銚子市事業仕分け対象項目について、これは事務局の方からご説明願います。

事務局

(別紙資料により説明)

伊永会長

説明ありがとうございました。詳しくご説明いただきました。

もともと銚子市としては約1,000ぐらいの事業をやっている。その中で、市民に対するものとして全事業リストとして出てきているものが467件ございました。これを、法定受託事務を除くとか様々なスクリーンをかけていただきまして、最終的に「事業仕分け対象項目(案)」②が出てきました。これには84コマ、これは同じような似たものはセットにして、小さい予算を含めて挙げていただいております。

ご説明ありましたように、セットの数ですので、表の中では左の方、色を付けた中で真ん中のゾーンを見ていただきたいのですが、一番左は1つ1つの事業に番号が付いております。その真ん中のところに「コマ」と書いてありまして、一番最初を見ていただきますと、秘書政策課の「その他広報広聴経費」と書いてありますが、これが1,439万7,000円、それに2番の秘書政策課の「ホームページ再構築経費」が37万8,000円、この2つを一緒にセットで仕分けの対象としたい。そのコマ番号がコマの1番、その下が2番、3番となっております。一番右のカラムは、467あります事業の中

で「全事業リスト」①に戻っていただきますと、この番号に突き当たるといふこととさせていただきます。我々がこれから議論しようとしておりますのは、この真ん中のコマの1番から84番までの中から54の事業にどうやって絞り込むかという作業なのですが、今日は時間も押していますので。

何か意見ございますか。

構想日本 伊藤氏

補足を二点させていただきます。

まず、これは事務局と構想日本で相談をして原案をお示ししているのですが、セットでやるということ、今、コマ数が全部で84コマになっているのですが、（事業仕分けが）1日6事業分というのは、1事業あたり55分ぐらい、1時間弱ぐらいの時間で取っているのですが、事業によっては複数の事業をまとめて扱いますので、それを超えてしまうだろうというふうに想定をしています。ですので、3日3班、全部で54コマ分ではあるのですが、最終的には、もうちょっと少なくしないと時間が当てはまらないという可能性が出てきます。これは相談しながら決めていくことになると思います。

もう一点、②の方で形式基準以外で除いているものが1つあります。それは、公共施設がすべて②の資料では除外されています。理由としては、26年度の反映を考えると、公共施設の場合、いきなり12月に議論をして、これをなくしましょうというのは無理ですので、一旦これは除外させていただきます。これは抽象的な話になるので、来年度以降、公共施設の場合は、1個を単体でやるというよりは、面的に同じ性質のものであったりとか、そのエリアにある貸館をやっている施設をまとめてやるというような形が必要だろうと思いますので一旦除外をしています。

ただ、そうは言っても、いくつか象徴的にやって、それを次年度の仕分けの中で盛り込むというのは、他の自治体でもやっていますので、そういったことは可能だと思います。

伊永会長

ありがとうございました。

今、ポイントはご説明いただいたのですが、今日これから、時間が押している中で中身を議論するのは、おそらく現実的でないと思いますので、ご提案をさせていただきます。

今日、委員の方、吉田委員、西田委員、加瀬委員、私の4名、それに土

居委員はご欠席でありますので、この委員の中で、まず、意見出しをしていただくかと思いますが、今の説明もありましたので、この84件の中から各委員が40件ぐらい、これをやった方がいいのではないかという事業をピックアップして、事務局にコマ番号で申し出ると。次回の会議では、そのコマ番号を事務局で集計して、先程、伊藤さんから説明がありましたが、場合によっては54コマ組めないということと、公共施設も象徴的にいくつか練習をやってみようというご提案もありましたので、だいたい50件ぐらいまでに絞る。40件ぐらいをそれぞれの委員から出していただいて、票数の多いものから採択していくというような、今日から次回までに作業する部分を、委員の皆さんには申し訳ないのですが、宿題のような形でお願いすることは可能でしょうか。

加瀬副会長

この資料をいただきましたけど、この中で、これは予算ですね。先日、予算執行の状況について伺いを立ててですね、どうなっているかというお話をしました。これは、この事業についてどのように反映されているのか、不用額がどうなっているのか全然見えない。ですから、この予算額に対して現執行額がどうなっているのか、不用額がどうなっているのか、不用額となるべき金額が概ねどのようになっているのかお示しいただきたい。そうしませんと、現状としてどう対応しているのか何も見えないのでお願いしたいと思います。

伊永会長

ということですが、いかがでしょうか。

財政課長さん、留保のかかっているコマはありますか。金額は今すぐ出ないかもしれないのですが。

財政課長

相当数あると思います。

伊永会長

全部消してしまったコマというのは入っていないですね。

財政課長

そうですね。全く事業を×にしたようなものはないです。ただし、この中で不用額が見込まれるものが担当課から出てきた場合は対象としていますから、これらの中には、不用額が出るであろうと見込まれた事業も入っております。

伊永会長 この予算額の中で、この数字は不用額を見込んだ数字ではなくて、当初予算の金額ですね。

財政課長 そうです。

伊永会長 これはどうしましょう。

加瀬副会長 後で結構ですけど出していただきたい。

財政課長 はい。

伊永会長 それを各委員さんに、今、加瀬副会長からご依頼あったものに修正して、チェックする場所も付けていただいて、これとこれとこれというふう
に40件、嚴重に40件とは申しません。41になっても42になっても。

加瀬副会長 ②の資料の脇に（欄を）入れてもらえばいいですね。

財政課長 そうですね。①の資料が予算額に対して前年度の決算額が参考に入っておりますので、②の方につきましては、そのうち抜粋したものについて予算額しか入っていませんので、今年度の不用額の見込みを備考欄を活用して入れるような形にすればよろしいですね。

伊永会長 はい。全事業リストの方には、もう少し詳細なデータがありますから、合体させるような形で今の質問に答えていただけたらと思います。

委員の先生方は、時間を取っていただいて、誠に申し訳ないのですが、この中から40件を選ぶ作業を1週間から10日ほどで作業していただければと思います。それを、次回までに事務局の方で整理していただいて、構想日本とも相談しながら詰めていくと。

それで、公共施設の件がただいま出ましたが、これもモデル的に1、2件やった方がいいと思うのですが、事務局の方から何かモデルになりそうな事業のご提案ありますか。

事務局 例えば、銚子市では、支所が1個所、出張所が2箇所ございますので、とっさにどれというのが浮かばないのですけれども、そういった施設的なものはいくつかあります。

伊永会長 では、支所・出張所の案件が1件と、私の方から、先程から説明を聞いていて、生徒数が94人で5園も幼稚園があるという話を伺いました。1箇所あたり10人から20人くらいしかいないということになってしまいますので、非常に不効率になっているように感じます。この幼稚園を取り上げていただきたいと思いますが、この2件はいかがでしょうか。すぐに廃止するという訳ではなくて、仮に廃止するとしても、工程表を作って、ロードマップを作って、時間をかけて廃止をしなければいけないと思いますが、いずれにしても、支所の関係と、幼稚園の関係の2コマを入れたいと思うのですが、伊藤さん、いかがでしょうか。

構想日本 伊藤氏 これは可能だと思います。幼稚園をやる場合は、たぶん保育園も一緒にやりますし。

伊永会長 じゃあセットにしますか。

構想日本 伊藤氏 その方がいいと思います。後は、公立と私立を一緒に。

伊永会長 どちらも私立があると思いますから、幼稚園、保育園、私立、公立、この4点をセットでコマにするということで、2つ公共施設をやってみたいと。いずれにしましても、事務当局、市長にお願いなのですが、今回は施設ものを避けて、施設に関わらない事業仕分けで今年はやろうということに進んでおります。これは緊急性が高いということでそうさせていただいておりますが、来年度、同じ事業仕分けをするときは、施設に関わるものが中心となってまいります。いわゆる今回は事業仕分け、来年は施設仕分けというようなものになっていくのではないかと思いますので、各施設をもっているところに今から認識しておいてもらいたいのですが。例えば、今後10年間とか、20年間のそれぞれの施設のロードマップといいますか、どういうふうな工程表というんですか、考えてもらっておくことを1年かけてやる必要があるのではないかと、そのためのトライアル、練習を12月

の事業仕分けの中に負担することを、施設ものを入れて行くと、こんな感じで捉えたいと思いますが、委員の先生方、それでよろしいですかね。

西田委員お願いします。

西田委員

何分にも事業仕分けなので、事業を仕分けるので、事業の話になるのですけれども、今までご説明いただいていたところから、いきなり細かな事業になっていく、このステップが市民には非常に大きくて、事業仕分けをすることと、政策を見つめること、通常、ビジョンがあつて、政策があつて、事業がある、その政策のところを明白に市民に伝わっていない中で、事業だけを仕分けるということが、市民の立場で言うと非常に抵抗感がある。おそらく、メッセージとして危機感があつて、市長が危機感を市民と共有したいとおっしゃるのであれば、同時にしっかりと何故こうなっているのかということ、今、委員であっても、傍聴人であっても、議員の先生方も一緒に危機感を共有できたと思うのですが、市民の皆さんに同じように危機感を共有していただくためには、余程、具体的なメッセージを同時に発していただかない限り、本当に細かな事業仕分けだけが歩いてしまうことになる。その事業仕分けだけが、この事業が斬られた、この事業がどうなった、最終的に我々は何を目指していくのかということが伝わらないのではないかとということが非常に不安です。

事業仕分けを来年度するかしないかも、今年度するときにしっかりと検証しますということも同時に打ち出さない限り、せっかく構想日本さんにおいでいただいている訳ですから、そこは失礼にあたるというか、せっかく来ていただいて、よくわからないけどいきなり事業仕分けをしたよではなく、銚子市はこういう方向を示すんだという、例えば、市民が入っている立場で言えば、自立と協働という、ありきたりかもしれないけど協働の視点を必ずそこに入れるということを強く同時にメッセージが出ない限りうまく伝わらないのではないかと不安があります。そこまで、あまりにもステップが遠いのにいきなり感があるというのが、うまくまとまらないですけれども、時間がないのが何より不安で、もう12月の21日から23日で事業仕分けで、お尻が決まってしまうところで、どこまでそれができるか、よっぽど市長からの具体的なメッセージがしっかりと伝わらない限り混乱をするのではないかと不安で危惧します。個別のメッセージをきちんとお伝えいただければ、市民にとってはそれが希望にな

るのかなと思うので、ぜひ、そこをお願いできればなと思いました。以上です。

伊永会長

市長、今の西田委員の疑問点に対して、何かコメントございますか。

市長

第1回目の時も申し上げましたけれども、単に切り捨てるというような事業仕分けではなく、それで生み出されたお金を、もう一度銚子市が明るい活力を取り戻していくんだと、あるいは子育てのしやすいまちに切り換えていくんだというのが最終的なビジョン、明確なビジョンだと思うのです。そのビジョンを目指すための第一歩としての今回の事業仕分け、来年度はさらに本格的に人口規模に合わせた健全な施設運営というものを洗い直して、そして新しいお金を生み出していくんだということが大前提だと思っております。

施設運営につきましては、先程、幼稚園、保育園の問題もありましたけれども、学校の問題も今やっております。それから、抜本的には非常に影響が大きいのは下水道、それから水道も企業団と自前の水道という二本立てでやっております、その経費というのも非常に大きいと、将来的な人口推計に合わせてどうやって施設、運営を見直していくんだということになるかと思っております。基本的には第1回で申し上げたビジョンということになると思っております。

伊永会長

事業仕分けの冒頭に必ずやるのがございまして、この事業は何のためにやっているのかということを経務方の方から説明がございまして、そこが市民判定人というか当日参加している方に伝わるような説明を役所側は心掛けないと、西田委員の言われたようなことが起こる訳ですが、事業にはそれぞれ、その事業なりにビジョンがあり、目的があり、その重要性の説明が必ず最初にありますので、当日、それを良く聞くことで、なぜ、これまでこの事業がずっと続いてきたのかが理解できます。ただ、議論の中では、でも無駄な部分があるのではないかとこのところを議論していく訳です。最後に判定を下すのは市民ですから、自分達にとって本当に必要なかどうかということは、市民が自ら判定するということになっていきますので、西田委員が懸念しているようなことばかりではないと思っておりますけれども。

加瀬副会長

会長からも説明いただきましたし、市長からもご説明いただいたのですが、まず最初に、我々委員が選定するにあたって、どのような事業なんだということが解らなければいけない。これが大前提だと思います。できるだけ事務方の方でご説明いただきたい。それぞれの委員にご説明いただかないと、何十項目選べと言われても、なかなかわかりづらい。つまり、直接的で市民に影響のある問題と、どちらかというとし役所内部に関する問題と、間接的には影響があるのだけれど。なおかつ、銚子市の市政の発展のためにどうするかというような問題。いくつかの中で、事業と言われてもいくつかの性格がある。例えば、②の1ページを見ると、地方バスの路線運行維持費補助経費、これは何ですかと聞かれたら、銚子市としては必要だけれど、民間に任せたら、そのままやってしまうと路線の運行が止められてしまうというようなものについては赤字を補てんしますよということだとすると、銚子市だけの問題の中で結論を出せない問題であると。それでは、便数を減らすのかということにも問題がある。ですから、それぞれの事業についてご説明いただけると委員さんが選定するときにはわかりやすいのではないかと思います。

観点として、いくつかの観点からどういうものを選ぶのですかという、そうでないと、これは市民のために必要だ、例えば、これはまちおこしのためにももう少し予算を付けた方が良いのではという意見も当然出てくる場合もあるでしょうし、そういう諸々の、特に役所の中の問題だと、市民の目から直接見えないから、これは削減せよという意見も出やすいのかなと、そういう視点から事業内容について事務方からご説明いただくとありがたいと思いますので、よろしくお願いします。

構想日本 伊藤氏

西田委員がご懸念のところは、今回、対象項目（案）を作るにあたって私自身も悩んだところでして、前回申し上げたように、事業仕分け自体、元々コストカットだけを目的でやっている訳ではありませんし、特にこの2、3年の自治体の仕分けの中では、市民の行政参画というのを打ち出される自治体が多くあります。まずは、事業仕分けというと、国の仕分けの事業を斬るというイメージが、未だにどこの自治体に行っても拭い切れていないという部分があるのですが、その中において銚子市さんは、そうは言っても、この間の財政状況もありますので、歳出削減という色合いは、

私の認識の中では他の自治体よりも少し濃いというふうになってくるだろうと感じています。というところも含めて、あまりここまでやったことはないのですが、いくつか類似の市をセットにしてやっているというのは、ある意味では施策レベルでの議論から入って行って、AとBの事業があって、Aの事業の効果よりもBの事業にもっとウエイトを置いた方が全体の施策がもっと効果的になるのではないかという議論を最近よく他の自治体でもやるのですが、そのために一度セットにしてまとめてみたというところでもあります。ですので、実際、議論していく中でも、もっとこの事業に付けた方がいいということで、現行維持の中で拡充という選択肢も入っているのですが、そういった結論になることもありますので、なかなか全体的なイメージとして、そういうところが打ち出されていないという部分があるのですが、これは実際に仕分けの議論を聞いていただければ変わってくるのかなというふうに思います。そういった意味で、加瀬委員がおっしゃったように、この事業の中には内部管理も入っているのです。ここは悩ましいところで、規模感をある程度出そうとすると市民に馴染みのないところも手を出していく必要がある。例えば、職員研修とか職員の福利厚生、こういったものは、市民からするとよくわからないと思うのですが、一応この中に出てきているものは、過去の事業仕分けの中でやったことのあるものがほぼ全てです。ですので、議論をすることはできるだろうということ抽出しています。

西田委員

今回のこの項目に関しては、事務局、市長も全て目を通していらっしゃいますか。市長ご自身ももちろん目を通していらっしゃいますか。それでご納得いただいているものですね。

市長

はい、見えています。

吉田委員

大変初歩的な質問ですが、事業仕分けというのは、この事業は基本的にやるかやらないか、続けるか廃止するかというのを決めるというふうに承知していますけれども、そういう解釈でよろしいですか。伊藤さんに伺いたいと思います。

構想日本 伊藤氏

議論は、最初としては、やるかやらないかからスタートしますが、継続

するとなったものについて、例えば、やり方をもう少しこういうふうに変えた方がいいのではないかとか、改善提案のところまで仕分けの議論の対象となっています。

吉田委員

続いてですが、ちょっと目に付いたのですが、教育関係で、学校教育課関連の小中学校の管理運営経費が両方で1億4,000万円ぐらいあるのですが、こういう経費が、資料②の事業番号165番、166番ですが、数字としては大きいですが、これは、そもそもやるかやらないかという議論にはならないですね。年々こういう管理経費は生徒数に応じて削減されてきているのですけれど、現場の状況を見ますと、ほとんどぎりぎりで行っているという状況なのですが、こういうのが数字として出てくるのですけれども、そもそもこういうのが載ってくるというのが常識的な観点から言うと解りづらいのですが、これも仕分けの対象になるのですか。

構想日本 伊藤氏

必ずしもこれ全部を対象にするかどうかというところではないと思うのですが、一応、形式的基準となるものを排除して、議論になり得るだろうというものがここにピックアップされていますので、そういった意味では、一点だけ申し上げると、事業仕分けの対象に挙げたこと＝悪者ではないのですね。実際に、もっと拡充しなければ駄目だというものも出てきますし、後は、事業名はどこの自治体も同じような、例えば、この管理経費は間違いなくどこの自治体もやっておりますけれども、その名前と実際にやっていることが、以外にも自治体によってかなり違いが出てきていて、実は無駄なところがあるという自治体もありますし、逆に、今おっしゃったように、本来付けるべきところに付いていないのではないかとということもありますので、そういったものは、いろんなところで議論しています。そういった意味で、ここに載っています。

吉田委員

ついでにもう一点。

先程、公共施設等のお話なんかも必要であろうと、来年ということでもくつか出ましたけれども、事業仕分けをやるかやらないかということなのですが、当然、指定管理への道というか、運営形態を変えていくという、例えば、体育館とか青少年文化会館とか市民センターとか、そういう社会教育施設等は、これまでも指定管理という議論があったのですけれども、

なかなかうまくいかない。要するに、そういうものがやるかやらないかではなくて、運営形態によって人件費が半分になったりだとか、運営経費が半分以下になったりという道があると思うのですが、この事業仕分けという観点から言うと、これは続けるかどうかという判断になるのですが、施設的なものについては形態を変えようというような議論まで持っていくということも可能なのでしょうか。

構想日本 伊藤氏 おっしゃるとおりです。やるかやらないかだけではなく、どういうやり方があるかというところの方が最近では議論としては中心になりますので、まさに運営形態が議論になっています。

吉田委員 承知しました。ありがとうございました。

伊永会長 吉田委員の言われたところは非常に大事なところでして、運営形態という形だけ変えるのかということにもなりますが、実際は、その施設に一番最適な人が選ばれて、その方が組織的に運営していくということができれば効果が上がるのではないかとということで、よく形態を見直すという形になってしまいますけれども、効果が出る場合もあるというふうに認識しております。

先程、加瀬委員から依頼がありました、実際に出向いて説明してほしいというご依頼ですが、行政改革推進室で、それぞれの委員の方に出向いて説明していただく時間を取っていただくのは可能ですか。

加瀬副会長 必ずしも全て説明してくださいということではなくて、委員からこの事業はどのような内容なのかという質問に対して説明いただきたいと、そういう意味で申し上げて、少し言葉が足りないところがあったので、必ずしも全てということをお願いしているということではございません。

事務局 ご質問いただきましたら、場合によっては担当課で調べるものであったら担当課に出向かせますし、こちらで調べて対応させていただきたいと思っております。

伊永会長 紙を見ただけでは、なかなか中身の本当のところはわからないという所

に対しては、丁寧な説明を、担当課なり行政改革推進室で対応していただくということをお願いいたします。

それでは最初に戻りますが、この84コマの中から40コマ程度選んでいただきまして、それぞれの委員さんから事務局の方にご提案いただくと。

締切りはいつ頃がよろしいですか。 次回の会議は20日頃だったと思うのですが。

事務局

最後にお伝えしようと思っていたのですが、次回は20日を予定しております、そこから逆算しますと15日あたりまでにいただけると大変ありがたいです。

伊永会長

では、一応の目標は15日ということで、宿題になってしまいますけど、選定の力を貸していただきたいということでお願い申し上げます。

それでは、この事業仕分けに関する項目については、以上で議論を終わりにさせていただきます、3番目の「市有地売却状況及び歳入増について」見直しをご説明願います。

財政課長

(別紙資料「遊休市有地の状況について」に基づき説明)

伊永会長

ありがとうございました。

状況は以上のとおりですが、ご質問ございますか。

(質問なし)

伊永会長

それでは、その他に移るわけですが、今日、せっかく市長が時間を割いてくださっていますので、ぜひ、この会議で議論と言いますか、審議会が考えなくてはならない部分があると思っておりまして、前回、財政課長さんから説明していただいて、最終的にどうしても4億円の赤字が出てしまうというご説明がありました。それに対して、この審議会として、あるいは銚子市として4億円の赤字というのは、私は個人的には回避しなければならないと思っております。この審議会のメンバーとして、ここをどう考えるかというのは、時間押しているのですが、少し議論させていただきたいと思ってます。

先程、財政課長さんから、遊休市有地の状況について話はお伺いしましたが、率直に言いまして、とても本気で売ろうとしているとは思えない。もし、必死で売ろうとしているなら、財政課は、部長さんも課長さんも営業に歩いていただかなくてはならないくらいの、大変な、簡単には売れない状況であろうと。各社の新聞記事にもありましたが、銚子市は、赤字に陥ってしまうという予測が出た段階で、普通に考えますと、銚子市に進出してひと仕事しようと思っていた方は、サッと波が引いてしまうのではないかと思います。でも、それを全て一掃して、銚子市は、最終的に赤字は回避しましたということになれば、銚子市の努力も報われる訳ですが、今のままですと4億円の赤字ということで、最終的には赤字を出してしまうと。すぐに財政再生団体になるわけではないのですが、その一步を踏み出すということが社会的な評価を貶めることになるのではないかなというように私自身は感じております。ですから、土地をもし本当に売るのなら、これはもう日々営業をしなければならないということだろうと思いません。

さらには、前回、税収の話をご説明いただきました。これも、税収を上げるべく努力しておられると思います。ですが、これも本気で取り組んでいると私は思っていない。もし、銚子市が未収金を本気で回収しようという姿勢を見せられるのであれば、「他の課も、そっちの仕事は置いておいて、税金の回収に行け」という命令だつてせざるを得ない。第1回の第1次答申でも出させていただきましたが、歳入を確保することというのを、やはり未収金を徹底して銚子市としては回収するんだというような姿勢も今のところまだ感じられないところでもあります。

もしも、土地もダメ、税収も簡単には上がらないということだと、直近では、職員の方には大変気の毒なのですが、賞与を赤字の団体が出すべきかどうかということも考えていただかなければならないことだと思っております。12月の賞与を一部返上していただくという対策もあると思いませんし、これアメリカで実際にあったことですが、10月にやったように、レイオフ、職員の方、無給で1箇月ほど休んでください、という選択肢だつてなくはない。これは、非常にひどいこと言ってますけど、そういうことも今、財政課長さんから4億円の赤字の解消見通しを伺う限り、非常措置が必要かもしれないという意識を私は強くしました。

もちろん、病院が大きな補正予算を要求している訳ですから、これを食

い止めることができれば、赤字を解消できる可能性があります。だから、病院もこれからどうしていくのか、市議会の方もたくさんおられますので、病院が補正予算の措置を願い出た場合、どういうふうに市議会として判断されるのか、市長はじめ市役所としてどう判断されるのか、大事なところだろうと思います。

さらには、今日も話題になりましたけど、市立高校も今の財政状況からは負担になっていることは間違いない。ただ、財政課長からご説明ありましたように、ほとんど高校については国の財源措置が取られているものですから、そんなに悲観的ではありません。

いずれにしても、この審議会は、単なる黒字にするということでは終われなくて、何とか、投資的経費を確保するところまで頑張らなければ意味がないと思っておりますので、私が今、考えている個人的な思いを申し上げましたけど、加瀬副会長さんどうですか。

加瀬副会長

会長の方から非常に厳しいご意見をいただいたと思うのですが、赤字が4億円というと、標準財政規模からいうと2%から3%の範囲内でマイナスということで、赤字比率ということで理解してよろしいですね。そうすると、今年度4億円の赤字になるとですね、来年度に実質収支4億円の黒字を出して、それでチャラになるということなので、基本的には、一旦赤字に落ち込むとですね、黒字化ということは厳しくなってくるということが前提だと思うのです。ですから、こういう形で歳出の見直しを急いでやりなさい、なおかつ、もう一つは、投資的な、いろいろ銚子のためになるものについては積極的に対応すべきだというような形になろうと思うのですが、その一つの中に、病院の方も、我々考えるのは、民間であれば、事業は自己の危険と計算の名において行うのが事業です、という基本的な考え方がある。ところが、ホームページに載っている24年度の決算書を見たら、診療報酬が3億円しかないのに、指定管理料が7億円出ている。こういうことで本当にいいのだろうか。そうしたら、7億円は、換算すれば4億円と7億円の差だから逆に黒字3億円になるのではないかという考え方もある。公立病院のあり方というのは、他の民間病院ができないところについて対応せよというのが前提条件になっています。それが、いわゆる公営の病院のあり方だと思うのですね。ですから、今ある病院と競争するものではなく、どうするかという中で、会長おっしゃられたとおり、7億円

を出している、先程のご説明だと15億円くらいの中の10億円が23年度出ているのかなという気がするんですが、こういうようなお金の出し方が果たして妥当なのかどうかということは、しっかりと別の場所で議論していただき、なおかつ我々の方でも判断していかなければいけないと思います。先ほどの、この公開された資料を見ると、3億円の報酬だと、かつて昔は30億円くらいの診療報酬があった。近隣の旭中央病院だと、診療報酬がだいたい300億円くらいある。300億円の診療報酬が入っている病院と同じ診療行為を行っていくのかどうか非常に議論があるところですね。ですからモデルが違う。大きさが違う。大きさが違うのに同じような病院経営はとてもしやれない。やればやるだけ赤字が増えるというのが現状であろうかなというふうに思いますので、この辺もしっかりと検討していただき、銚子の財政が厳しい状況にならない、もっと悪い方向にならないように、今、歯止めしていかななくてはならない、こういう時期だなというふうに感じております。会長のご意見がありましたので、私の意見を申し上げました。以上です。

伊永会長 西田委員、何かご意見ありますか。基本的には赤字を何とか回避したいという思いが私は大きいのですが、その点はいかがですか。

西田委員 私も同感です。今年度、何としても赤字にしないということを、もう一度確認をしたいというふうに思います。そのためにどうしたらいいか。採れる方法は、まだあるのではないかと思いますので、先程、会長の方から賞与、非常に厳しいところではあるのですが、それは私も賞与というものを思わざるを得ないのかなと。あとは、例えば、先憂後楽というような発想が出るかどうか。

伊永会長 吉田委員いかがですか。基本的なところ、赤字を回避するかどうかについてはいかがですか。

吉田委員 やはり経営者として考えれば、何が何でも回避したいと考えるものです。やはり、先程、会長おっしゃったとおり、市有地の売却もですね、公募した中ではまず売れないと常識的には判断しますので、やはり何とか専門のチームを作っても、歩き回って売り込むというような姿勢で臨まな

いと、売ることは無理だと考えます。何とか回避していただきたいと思
います。

市長

ご指摘ありがとうございます。先程の説明にもありましたように、平
成23年度で赤字決算を打った団体というのは、青森県の鱒ヶ沢町、それか
ら大阪府の泉佐野市という2団体しかありません。もし、銚子市が赤字決
算ということになれば、この中に仲間入りをするという、非常に不名誉な
結果であると同時に、銚子市民、企業にとっても非常にショッキングなこ
とになると、銚子の価値そのものが下がってしまうという危険性もありま
すので、何としても回避をしたいと思っております。

まだまだ取り組みが甘いということ、そのとおりだというふうに厳粛に
受け止めさせていただきます。私自身も営業に歩くと、例えば国民宿舎の
土地などというのは、ただ公募して待っているというだけでは、土地の利
用条件も非常に厳しい場所で、セットバック、自然公園法、風致地区等い
ろいろありますので、具体的に営業活動に私自身がトップセールスに歩き
たいと思っております。それから、2番目の潮見町のマリーナ後背地につ
きましては、大学との交渉を煮詰めて、年度内に何とか売れるようにした
いと思っております。交渉も進めておりますので、是が非でも決着をつけ
たいと思っております。

それから、病院経営が財政を圧迫しているということは、病院が必要だ
ということは皆さん認めることですが、何とか経営改善をして、年間、平
成24年度では赤字補填して指定管理料、修繕費含めて9億3,000万円現在の
病院に対して補助をしている訳でありますので、この9億3,000万円を少し
でも減らすということは、効果額としては大きいというふうに思っており
ますので、これにつきましては、2月に「あり方検討委員会」というもの
を設置して、徹底的に議論をしていただく、良質な医療の提供と経営改
善、この難しい2つのことを両立させていただくような今後の運営のあり
方を、ぜひ提言していただこうと思っております。また、それに先立って
の事前調査というものも既に始めておりますので、できましたら、行革の
委員の皆さんと、あり方検討委員会予定者の皆さんが意見を交換するよう
な場を、ぜひ、つくりたいなというふうに思っております。行革の視点か
ら、ぜひ、病院経営の改善についてもご提言をいただければというふうに
思っております。

とにかく、4億円の赤字を回避するという目標に向かって、もう一歩、二歩、努力をしていきたいと思っております。

伊永会長

越川市長さんの力強い宣言をいただきましたので、今日はこれで終わりたいと思いますが、財政当局もおられますし、行革の当局もおられるわけですが、今日、部長はおられませんけど、ぜひ、この銚子市行財政改革審議会としては、赤字の回避ということで一本化しておりますので、ぜひ、力を発揮していただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日の会議は以上でございます。

(事務局から次回の日程について事務連絡)

伊永会長

本日は長時間にわたりお疲れ様でした。これにて散会といたします。ありがとうございました。